



# 茶の薫る丘

開校43周年

令和4年11月1日発行

## スポーツ・文化の秋

『選手が近づいてくると応援の声が一段と高まる。』

今年も、10月20日に入間市中学校駅伝競走大会が、黒須運動公園で開催されました。本校も、大会に向けて9月から、3年生 4名、2年生 34名、1年生15名、総勢53名で練習を開始しました。

校長として嬉しかったことが2つあります。1つは、4名の3年生が参加したこと。もう1つは、53名の生徒が、お互いに声を掛け合っている姿。「ラストがんばれー」「ファイト」「お疲れ」等々チームがひとつになって練習に取り組んでいたことです。

大会は、見事、男女共Aチームが5位入賞し、男子B16位(22チーム参加)、女子B15位(18チーム参加)と素晴らしい結果を残しました。黒須中としては、久しぶりの入賞でした。一人一人が力を出し切った、素晴らしい走りでした。大会当日は、コロナ禍のため、各学校2チームという制限があり、全員が大会に参加することはできませんでしたが、練習に参加した皆さんの頑張りは、今後の部活動の力に必ずなります。

11月は文化の月、埼玉県では教育に対する関心と理解を一層深める機会として、毎年11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

黒須中学校では、明日11月2日に、武蔵野音楽大学のバッハザールをお借りして、合唱祭を行います。本年度は、コロナウイルス感染防止対策を講じながら、保護者の皆様にも鑑賞していただく予定です。

今、校内では放課後になると、各クラスの心と声を合わせた、素晴らしいハーモニーが聴こえてきます。練習時間が短い中ですが、みんなで工夫し想いを伝えてほしいと思います。発表当日に向け、合唱委員を中心に、主体的に取り組んでいる姿は、とても素敵です。

自分たちのクラスでしか奏でることのできない合唱曲を、バッハザールいっぱい響かせて下さい。



入間市立黒須中学校長 砂田 一

埼玉県では、毎年11月を「いじめ撲滅協調月間」と定めています。

本校でも、先日生徒会が中心となり「いじめKO(ノックアウト)」という取組を行いました。取組の中で、コロナ禍で生まれた、差別等を防止する意味を持つ『シトラスリボン』を一人一人が作成しました。今後も、生徒一人一人が笑顔で学校生活を送ることができるよう、尽力します。